

(様式 1)

2020年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：組織論特論	
担当教員名：丁 圏鎮	
授業科目概要：  この授業の目標は、組織理論を学び、理論を実際の組織に適用できる能力を修得することにある。前半では、組織構造の基本原理をはじめ、設計要素、組織の環境適応を考察したうえで、多様かつ複雑な実際の組織を理解・分析するための理論的枠組みを学習する。さらに、社会における組織をいくつかのタイプに分類して、それぞれの構造的、環境的、戦略的特徴を比較・分析し、如何にして組織の有効性を高めるかを考察する。後半では、組織における個人（集団）の協働活動を高めるために欠かせない、モチベーション、リーダーシップ、コミュニケーションに関する基本的理論を学び、それらを組織に活用する具体的方策について議論する。	
履修上の留意事項：  ・ 毎回、予習を徹底にすること ・ 議論に積極的に参加すること	
教科書・参考書（参考文献）	
書名（教科書）：『組織設計と個人行動』 著者／編者：丁 圏鎮 出版社：文眞堂 出版年：2016年	書名：： 著者／編者：： 出版社：： 出版年：：
書名（参考書）：『人間感覚のマネジメント』 著者／編者：H.ミンツバーグ著・北野利信訳 出版社：ダイヤモンド社 出版年：1991年	書名（参考書）：Mintzberg on Management 著者／編者：H.Mintzberg 出版社：Free Press 出版年：1989
書名（参考書）：『流れを経営する』 著者／編者：野中郁次郎編 出版社：東洋経済新報社 出版年：2010年	書名（参考書）：『実践ソーシャル・イノベーション』 著者／編者：野中郁次郎編 出版社：千倉書房 出版年：2014年
評価方法及び判定基準：  ・ 授業中の議論：40点 ・ 期末テスト（または、レポート）：60点	
授業目標及び進め方：  ・ 授業目標：組織理論を学び、理論を実際の組織に適用できる能力を修得する。 ・ 進め方：予め文献を読んで、内容を正確に理解する。 履修生同士で内容理解を確認し、要点および論点について議論する。 教員が解説および全般的コメントを行う。	

(様式 1)

第 1 回	テーマ：組織とは何か、組織理論の領域 内 容：組織の定義、組織の捉え方 教科書／参考書
第 2 回	テーマ：組織構造と組織の部分、調整メカニズム 内 容：組織構造の編成原理、5つの組織部分 教科書／参考書
第 3 回	テーマ：組織の設計要素 内 容：専門化、公式化、教育と教化、単位編成、単位規模、計画・統制、リエゾン、分権化 教科書／参考書
第 4 回	テーマ：組織の状況要因 内 容：年齢と規模、技術システム、環境、パワー 教科書／参考書
第 5 回	テーマ：組織の類型的考察（1） 内 容：企業家的組織、機械的組織、多角的組織 教科書／参考書
第 6 回	テーマ：組織の類型的考察（2） 内 容：専門職業的組織、革新的組織 教科書／参考書
第 7 回	テーマ：組織の類型的考察（3） 内 容：伝導的組織、政治的組織 教科書／参考書
第 8 回	テーマ：効果的組織設計 内 容：形と力の原理、形と力の統合 教科書／参考書
第 9 回	テーマ：モチベーション（1） 内 容：内容理論 教科書／参考書
第10回	テーマ：モチベーション（2） 内 容：過程理論、内発的動機づけ 教科書／参考書
第11回	テーマ：リーダーシップ（1） 内 容：資質理論、行動理論、条件適合理論 教科書／参考書
第12回	テーマ：リーダーシップ（2） 内 容：リーダーの役割、コーチング 教科書／参考書
第13回	テーマ：コミュニケーション（1） 内 容：コミュニケーションと場 教科書／参考書
第14回	テーマ：コミュニケーション（2） 内 容：場と知識創造 教科書／参考書
第15回	テーマ：まとめ 個人と組織の役割 内 容：「個人と組織」の問題、「組織と社会」の均衡的發展 教科書／参考書